

平成21年度八重山群島病害虫発生予報第2号(5月予報)

5月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	40	30	30
平年並	30	30	40
低い(少ない)	30	40	30

(平成21年4月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

平均値

	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	25.5	28.1	23.5	221.4	159.2

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

5月の発生予報および防除上の注意事項

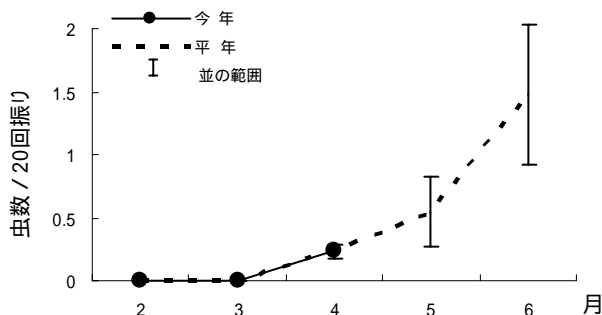
1 水稲(1期作)

(1) 斑点米カメムシ類

発生程度 : 並

予報の根拠

4月下旬の調査の結果、捕虫網によるすくい採り虫数は20回振り当たり0.2頭(平年0.2頭)と平年並であった。



水稲(1期作)における斑点米カメムシ類の発生推移

< 防除上注意すべき事項 >

- a 出穂期前後の除草はカメムシ類が水田に移動するので極力控え、やむを得ず水田周辺を除草する場合は、刈り取り後直ちに薬剤防除を実施する。
- b 薬剤防除は、基本として穂揃期とその7～10日後の2回実施する。

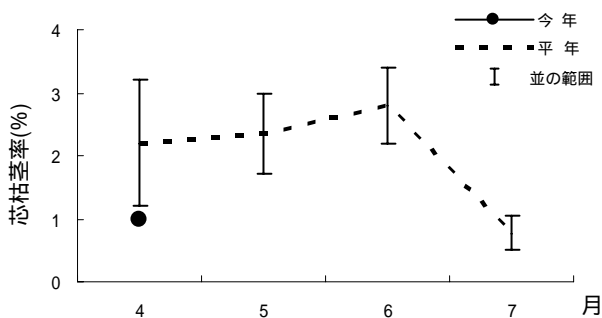
2 さとうきび

(1) メイチュウ類

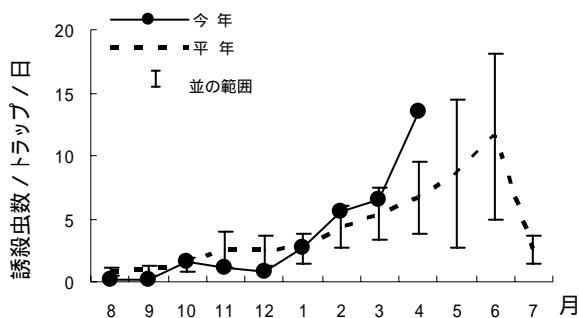
発生程度 : 並

予報の根拠

- 4月下旬の調査の結果、春植え圃場での芯枯茎率は1.0%(前年1.8%、平年2.2%)と平年よりやや少なかった。
- 4月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの日当たり誘殺虫数は13.5頭(前年7.2頭、平年6.6頭)と平年よりやや多かった。
- 一部の夏植圃場ではイネヨトウによる坪枯れ被害が認められた。



新植春植における芯枯茎率の推移



カンシャシクイハマキの誘殺虫数の推移

< 防除上注意すべき事項 >

- 有効分けつ期の芯枯れ防止をねらい、食入初期の幼虫を対象にした薬剤防除を行う。
- 培土時に他の土壌害虫の防除も兼ねた薬剤(粒剤)を選定し、施用する。

3 マンゴー

生理落果～果実肥大期の病害虫防除対策

- 4月中旬の調査の結果、一部施設で炭疽病やチャノキイロアザミウマの発生が認められた。
- 病害対策として、施設内の通気を良くするとともに、袋がけ前に薬剤による予防に努める。また罹病した葉・花序等は除去し、施設外へ持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマの寄生する不必要な新葉は除去し、ビニール袋に入れるなどして速やかに施設外に持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用は避ける。